

科目名	歴史学特講Ⅱ	
担当者	谷口 明夫 / TANIGUCHI, Akio	
科目情報	人間文化<歴史地理> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	『資治通鑑』は、『史記』と並ぶ名著です。本講義では、様々な形式の歴史書とその特色を学んだ後、『資治通鑑』の編著者たちと編修の経緯・方法と関連する著述について学びます。そして『資治通鑑』の数段を読み、検討を加えます。
	到達目標	(1)『史記』の「三代世表」から殷・周の王の系譜を作る。 (2)司馬光らのグループの編纂方法を理解して、説明できる。 (3)司馬光の歴史書編纂の基本姿勢を説明できる。 (4)自分ならどんな歴史書を書くか、構想をまとめる。
授業計画	(1) オリエンテーション：授業の目標と今後の進め方の説明 (2) 歴史書の形式：紀伝体、編年体、紀事本末体など (3) 同上 (4) 同上 (5) 『資治通鑑』の編修責任者司馬光について (6) 司馬光の協力者たち (7) 司馬光らの拠った史料：正史と実録と文集等 (8) 『資治通鑑』の編纂方法 1, 区分の仕方, 紀年問題 2, 長編の起草 (9) 同上 3, 署名の由来 4, 『資治通鑑』の価値 (10) 『資治通鑑』を読む 1, 刺客と君主の在り方 (11) 同上 2, 学者の娘と曹操 (12) 同上 3, 煬帝の妹と娘の悲劇 (13) 同上 (14) 『資治通鑑考異』と『資治通鑑目録』の価値 (15) 日本における『資治通鑑』の受容 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・関心を持った事項・人物について調査して理解を深める。 ・『通鑑』の拠った史料にまで遡って比較してみる。
使用教材・参考文献	【教】使用しない。適宜プリントを配布する。 【参】内藤湖南『支那史学史』（『内藤湖南全集』第11巻 筑摩書房 1969年）	
成績評価方法と基準	小テスト：60点 レポート：40点 欠席1回につき3点減点。『資治通鑑』の編纂の経緯を理解し、自分なりの歴史書編纂の構想をレポートとしてまとめた場合、合格とします。	
備考		